

令和7年度 第1回 第5次王寺町健康づくり計画策定委員会 議事要旨

日時 令和6年7月22日(火) 午後14時00分から午後15時30分

○案件 1 第4次健康増進計画及び食育推進計画の評価について

2 王寺町の現状と課題～マイアセスメント調査等の分析により～

番号	内容
1	塩分を控えるということを一層推進するべきである。
2	ヘルスアップ教室において、サポーターの高齢化が見られることから、サポーターの育成についても考える必要がある。
3	スポーツと食事に対する意識付けが課題となる。
4	歯の状態と栄養のバランスのクロス集計を行い、特に50代以降において、歯の状態によって栄養バランスが悪いという結果が出れば、意識ではなく環境が整っていないという要因が浮かび上がり、歯科と絡めた栄養の取組が必要となる。
5	「食塩を1日1g減らす」、「野菜を1日1皿増やす」といった重点的な取組の評価がCになっていたが、全国的な問題でもあるため、課題として計画に記載する必要がある。
6	中学生以下に対して、たばこの害に関する啓発を課題として、あげるべきである。特に教育現場との連携を図ることができれば良い。
7	歯の健康に関して、フッ化物洗口剤の多施設への配布や、歯みがき習慣に関する啓発、高齢者に対するオーラルフレイル予防の啓発等を課題として加えるべきである。
8	ロジックモデルの「C：変わらない」という評価を改善していくために、第5次王寺町健康づくり計画において具体的に分析する必要がある。
9	奈良県では、「やさしおベジ増し」として、スーパー等に優しい塩加減で野菜を増やすお弁当や総菜を作るようお願いをされていて、基準を満たすと健康優良店として表彰する取組をしている。このような取組を広めていくのはどうか。
10	子どもの食べ物や、歯の健康に加えて、目も大事である。最近の子どもは視力が低下しているため、対策が必要である。
11	タブレット等の日常化と視力の悪化について、町として直接の対策は難しいかもしれないが、医師会から助言をいただいたり、学校との取組の連携が必要である。
12	女性の死亡比の第1位が自殺であるため、分析し、対策が必要である。
	最近ボランティアに参加してくださる方が高齢化している。